

札幌保健医療大学女子バスケットボール部ご案内



1, バスケットボール部の目標

北海道の大学バスケットで優勝する…そして全国大会へ

ずばりインカレ出場を目指しています。もちろん優勝して全国大会出場が目標です。ただ優勝すればいいということではなく、以下のコンセプトが大切です。バスケット部全体のコンセプトは、

バスケットを楽しみながら優勝を狙い、インカレ(大学の全国大会)の出場を目指すとともに、学生としての本分もしっかりとやり遂げよう！

バスケットボールを楽しむことと何事にも全力で一生懸命に取り組むことの両立を目指します。学生の本分である勉学に励むことも大切です。勉学にもしっかりと取り組み、管理栄養士や看護師等の資格を取得してもらいます。

2, バスケットボール部の紹介

2023年に設立された新しいチームで強化指定部活です。2月現在、部員は2年生8名、1年生6名の計14名です。2026年4月に新入部員が7名入学予定で、少しずつ練習に参加しているところです。『北海道の上位チームを打ち破り北海道No.1になる』ことを目標にチャレンジャーとして日々の練習に取り組んでいます。

昨年9月に大学選手権で2部リーグの優勝を果たし、2026年4月からは1部リーグのステージに立ちます。昨年6月に実施された新人戦(1、2年生のみ出場の大会)では北海道3位となり、あと一歩で全国大会へ出場できるところでした。(北海道からは2チームが全国大会出場)

本学は決して大きい大学ではありませんが、大学からは全面的にバスケットボール部をバックアップしていただいています。以下の事項はその一部です。

【遠征・合宿】

下記合宿、遠征、大会について大学から宿泊費・交通費に対して補助金(35~50%)があり、学生の負担をできるだけ軽くできるようにしています。

春に道内合宿を実施しています。(秩父別町)

春休み中に道外遠征を実施予定です。(2026年度は埼玉遠征の予定)

公式戦(春季大会、新人戦、札幌会長杯、道民大会、秋季大会、札幌選手権大会など)

【施設・設備】

本学は吉田学園系列の大学として、姉妹校・北海道スポーツ専門学校の施設をバスケットボール部員は無料で使用できます。本格的なトレーニングルームの使用が可能です。

【ユニホーム、登録料等】

試合で使用するユニホーム、練習で使用するナンバーリング3種類、日本バスケットボール協会への登録料、大会への参加料など多くの事項で大学が負担しています。学生への金銭的負担が極力少なく済むように配慮しています。

3、大学の学科

(1) 栄養学科

バスケットボール部にスポーツ特待制度があります。A 特待（授業料 4 年間全額免除）と B 特待（授業料 4 年間半額免除）です。

卒業時には栄養士の資格が取得できるとともに、管理栄養士の受験資格が取得できます。また、スポーツ栄養学もあり、学びを活かして将来スポーツに関わる仕事を目指すことができます。栄養教諭の免許取得も可能です。

(2) 看護学科

バスケットボール部にスポーツ特待制度があります。B 特待（授業料 2 年間半額免除）です。

看護師を目指しながらバスケットボール部の活動ができます。

保健師または養護教諭の免許取得も可能です。

4、バスケットボール部のスタッフ募集

選手として活動するのはもちろん大歓迎ですが、その他に入学時からスタッフとしてバスケットボール部に所属し活動する選択肢も増やしました。上記のいずれかの学科に入学し、スタッフとしてバスケットボール部を支えてくれる方を募集いたします。

普段はマネージャー業務をしていただき、以下のことをプラスして充実していきます。

- ① アシスタントコーチ・・・JBA 公認コーチを取得してもらいます
- ② 審判・・・JBA 公認審判を取得してもらいます
- ③ 栄養スタッフ・・・栄養学科での学習を活かして選手の栄養管理を行います
- ④ トレーナー・・・本校でトレーナー資格は取得できませんが、看護学科の学習を活かしてもらいます

ただし、バスケットボール部のスポーツ特待制度には該当しません。

選手の頑張りはもちろんですが、大学のバックアップ、スタッフの充実を含め、総力を上げて北海道 No,1 を目指し、インカレ出場を果たしたいと思えます。



皆さんから愛される、素晴らしいバスケットボール部になれるように邁進してまいります。

何かお聞きになりたいことがあれば気軽に下記まで連絡をいただければ幸いです。

よろしく願いいたします。

札幌保健医療大学 バスケットボール部 顧問 大浦 浩

大学代表電話 011-792-3350

携帯 090-3395-7682